

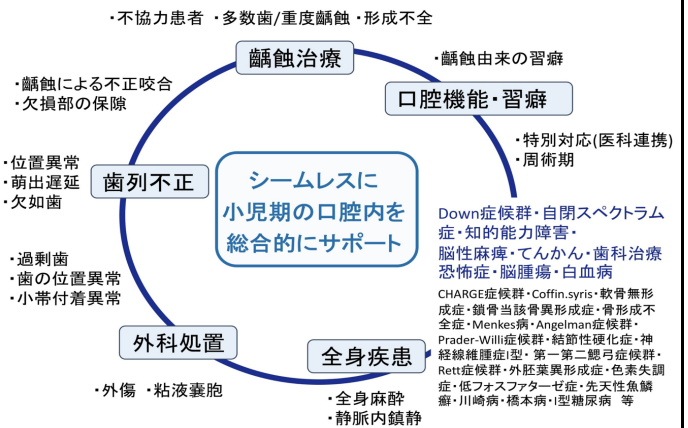
大学名		東北大学	
講座、分野（教室）名		地域共生社会歯学講座 小児発達歯科学分野	
主任教授		齋藤 幹	
勤務形態			
月～金、9: 00～17: 00まで、休日：土日祝日			
講座の特色			
<p>臨床面では東北地方は齲蝕が多く、多数歯齲蝕の患者の治療を学ぶことができる。更に外科処置や咬合誘導症例も多く、レーザーやマルチブラケットを用いた治療、光学印象など、幅広い小児歯科治療を経験できる。また、行政や歯科医師会と連携して、地域の歯科保健活動も行っている。</p> <p>研究面では、東北大学は全国で最初に臨床研究中核病院に認定され、企業との共同研究も積極的に行っている。また、全国で最初に国際卓越大学にも認定されたため、研究に対する資金も潤沢にあり、過去にもトップジャーナルへ投稿しており、高度な基礎研究も行える。更に日本学術振興会特別研究員や科学研究費助成事業の採択率も高く、キャリアアップや研究遂行、業績の蓄積が容易である。</p> <p>そのため通常の診療を行う事によって、最短の6年目には小児歯科専門医の申請が可能となる。更に、希望があれば、歯科医師では取得者が少ないインфекションコントロールドクターの取得でき、病院での感染対策委員へのキャリアアップも可能である。</p>			
医局の構成			
1. 教 授： 齋藤 幹			
3. 講 師： 丸谷 由里子			
3. 講 師： 千葉 雄太			
4. 助 教： 日野 綾子			
4. 助 教： 但野 愛実			
4. 助 教： 大竹 慎司			
5. 医 員： 有川(星川) 聖良			
6. 大学院生： 4年1名、3年1名			
合 計： 9名			
病 院		ク リ ニ ッ ク	
設備	チェアー数： 7台	設備	チェアー数： 台
	個室： 3室		個室： 室
スタッ フ	看護師： 2名（矯正科と共通）	スタッ フ	受付： 名
	歯科衛生士： 3名（矯正科と共通）		歯科衛生士： 名
1 日平均患者数： 50名		1 日平均患者数：	
※本学のアピールポイント			
本学小児歯科のアピールポイント			
1. 治療目的の患者が大半のため、多くの治療経験が得られ、専門医取得に向けた症例の蓄積も可能			
2. 小児歯科専門医・指導医の率が高く、手厚い指導が受けられる			
3. 専門医および認定医取得までのフォロー			
4. 国際卓越大学のため、奨学金申請の機会が多い			
5. 学会発表者への出張旅費援助			
6. 保育園歯科検診・乳幼児歯科検診・学校歯科検診なども経験できる			

本学小児歯科年間行事

4月：分野説明会・新入生歓迎会
 5月：小児歯科学会 全国会
 8月：暑気払いビールパーティー
 10月：学位予備審査お疲れ様会・歯科基礎医学会
 10月～11月：小児歯科学会 地方会
 10月：分野説明会
 12月：忘年会
 1月：新年会
 3月：送迎会

講座から一言

東北大学病院の小児歯科には、右の図のように多種多様の患者が多数来院されます。また、1つの問題が他の問題に繋がり、子どもの成長と発達に大きな影響を与えます。当科ではこれらの問題にシームレスに対応し、子どもの成長と発達を総合的にサポートしています。



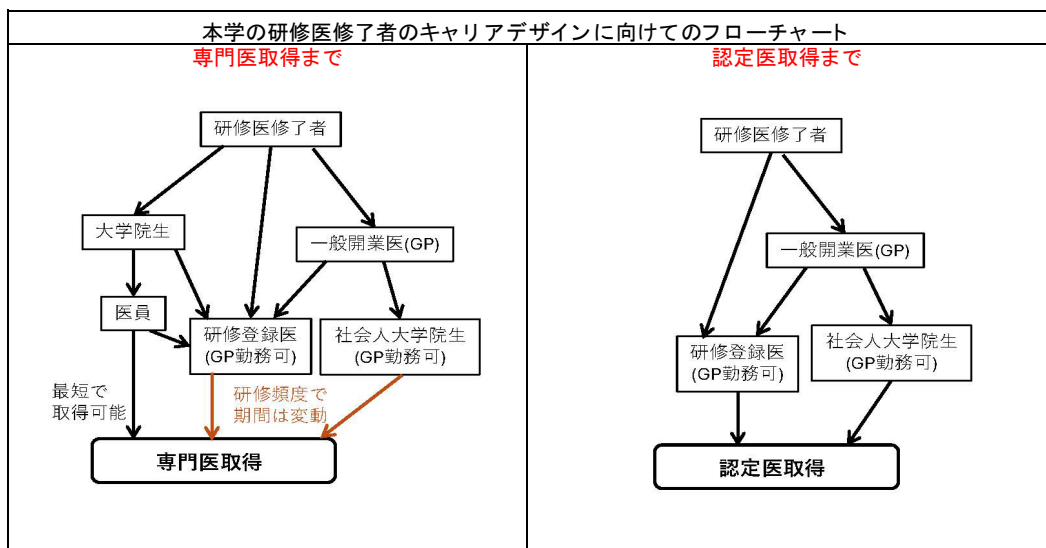
※部の表示データおよび罫線区画は、各機関にて自由に変更可

大学名		東北大学	
講座、分野（教室）名		地域共生社会歯学講座 小児発達歯科学分野	
主任教授		齋藤 幹	
講座医局員研修プログラム責任者		齋藤 幹	
講座医局員研修プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称		日本小児歯科学会 認定医 日本歯科専門医機構・日本小児歯科学会 専門医 ICD制度協議会 インфекションコントロールドクター	
講座医局員研修プログラムの特色			
1. 東北地方は齲蝕多発地域のため、齲蝕処置多数あり 2. 可撤式装置・リンガルアーチ・マルチブラケットによる咬合誘導症例多数あり。 3. 小児科・顎口腔機能治療部との連携により、全身疾患を有する患者や口蓋裂患者、周術期管理も多数あり。 4. 東北地方の中核病院のため、他県からの患者も多数あり。 5. 麻酔科への研修も可。静脈内鎮静や全身麻酔下による 歯科治療あり。 6. 本学独自の検印システムを採用			
大学院入学の利点			
1. 治療を必要とする症例が多数あり、多くの小児歯科治療経験が修得できる 2. 臨床研究から、ハイインパクトな基礎研究まで、自分の興味に沿った研究ができる 3. 研究費や学会発表などの資金的援助が受けられる 4. スタッフのほとんどが小児歯科専門医または指導医のため、専門的な指導が受けられる 5. 症例が多いため最短期間での小児歯科専門医修得が可能 6. 希望があればインフェクションコントロールドクターの取得も可能			
講座医局員研修プログラムの内容			
大学院生		臨床専門専修科生・研究生・レジデント・医員	
1年目	多数歯齲蝕を有する小児の治療 複数の指導教官による配当 指導教官との治療方針の検討 1症例を選び、症例発表のスライド作成 年度末に症例発表を行う	1年目	模型実習 歯型彫刻・レジン冠・インレー修復・生活歯髄切断・ 口腔内写真撮影・乳歯既製金属冠・保険装置作成・ 模型分析・セファロ分析 など 外来見学
2年目	歯列不正を有する小児の治療 複数の指導教官による配当 模型・セファロ分析 指導教官との治療方針の検討 1症例を選び、症例発表のスライド 作成 年度末に症例発表を行う	2年目～	配当患者の歯科治療 複数の指導教官から 配当を受ける それぞれの指導教官と 治療方針を検討する 大学院生時に、学会参加や発表を行い、 認定医・専門医取得のための条件を満たす 認定医受験* （小児歯科臨床経験として通算2年以上） 1. 客観試験（選択肢問題） 2. 面接試験（症例報告に基づく） 専門医受験 （小児歯科臨床経験として通算5年以上） 【試験内容】 (1) ケースプレゼンテーションおよび口頭試問 (2) 症例課題(記述試験) (3) 客観試験(選択肢問題)
3年目	小児の外科処置または全身疾患を有する小児の治療 複数の指導教官による配当 指導教官との治療方針の検討 1症例を選び、症例発表のスライド 作成 年度末に症例発表を行う		
4年目	小児歯科治療経験の蓄積 1か月で80名から150名程度の患者の診療を行う 学位取得のための論文作成を行う 大学院生時に、学会参加や発表を行い、 認定医・専門医取得のための条件を満たす		
卒後1年目	麻酔科研修（6か月） 認定医・専門医取得のための書類作成・申請・取得		

大学名	東北大学
講座、分野（教室）名	地域共生社会歯学講座 小児発達歯科学分野
主任教授	齋藤 幹

外勤可能日数			
大学院		臨床専門専修科生（登録研修医）	
乳幼児検診・学校歯科検診あり		勤務しながら、大学で研修を行う	
大学院		臨床専門専修科生（登録研修医）	
1年目	大学から：8~10万円/月、外勤可能	1年目	研修の来院頻度は要相談
2年目	大学から：8~10万円/月、外勤可能	2年目	研修の来院頻度は要相談
3年目	大学から：8~10万円/月、外勤可能	3年目	研修の来院頻度は要相談
4年目	大学から：8~10万円/月、外勤可能	4年目	研修の来院頻度は要相談
奨学金へのエントリーも可(学振DC、PD、学内の各種奨学金など)			

主な外勤先	

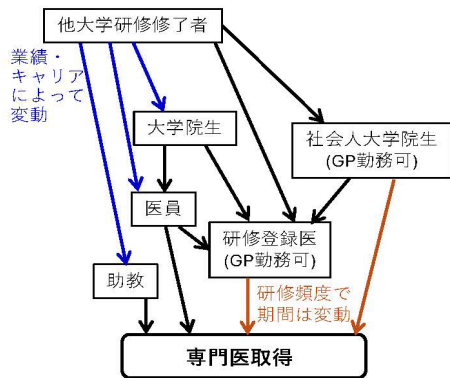


詳 細	
大学院生	臨床専門専修科生(研修登録医)
講座への入局希望受付期間：前年度5月下旬 願書提出時に必要な書類： https://www.dent.tohoku.ac.jp/examinate/graduate/index.html	講座への入局希望受付期間：前年度12月下旬 願書提出時に必要な書類： (1) 研修登録医申請書 (2) 研修登録医の受入れ依頼 (3) 所属医師会長または所属病院長等の推薦書 (4) 履歴書（写真貼付） (5) 歯科医師免許証（写） A4サイズの用紙に縮小コピー願います。 (6) 保険医登録票（写） A4サイズの用紙にコピー (7) 健康状態確認票 又は職場等で受診された健康診断等（申請の3か月前まで） (8) 医師賠償責任保険契約書 (9) 登録証用写真1枚(2.4cm×3.0cm・運転免許証サイズ) (10) 誓約書 (11) 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎の免疫についての申告書

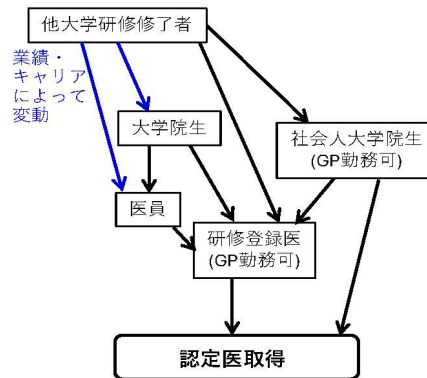
問い合わせ先： 齋藤 幹 （kan.saito.bl@tohoku.ac.jp）

本学に在籍したことがない者のキャリアデザインに向けてのフローチャート

専門医取得まで



認定医取得まで



詳細

有給職員・レジデント（医員）

大学院生・臨床専門専修科生

講座への入局希望受付期間：随時

講座への入局希望受付期間：

必要な書類：要問い合わせ

願書提出時に必要な書類：

大学院生 [同上](#)

面接

臨床専門専修科生 [同上](#)

問い合わせ先：齋藤 幹 (kan.saito.b1@ohoku.ac.jp)